

平成18年度事業報告

I 財団の運営・管理

1 第38回理事会

開催日 平成18年5月26日(金)
場 所 鳥取厚生年金会館
審議事項 議案第1号 平成17年度事業報告の認定について
議案第2号 平成17年度収支決算の認定について
議案第3号 平成18年度収支補正予算について
議案第4号 役員の選任について

2 第39回理事会

開催日 平成18年6月5日(月)
場 所 鳥取県庁第2庁舎 財団法人ふるさと定住機構事務局
審議事項 議案第1号 理事長の互選について
議案第2号 専務理事の互選について
議案第3号 監事の選任について

3 第40回理事会

開催日 平成18年8月7日(月)
場 所 鳥取県庁県議会棟2階「執行部控室」
審議事項 議案第1号 理事の選任について
協議事項 ふるさと鳥取県定住機構の現状と今後の方向等について

4 第41回理事会

開催日 平成19年3月26日(月)
場 所 鳥取厚生年金会館
審議事項 議案第1号 平成19年度事業計画について
議案第2号 平成19年度収支予算について
議案第3号 平成18年度収支補正予算について
議案第4号 財団法人ふるさと鳥取県定住機構寄附行為の一部変更について
議案第5号 財団法人ふるさと鳥取県定住機構諸規定の一部変更について
議案第6号 役員の選任について

II 事業の推進

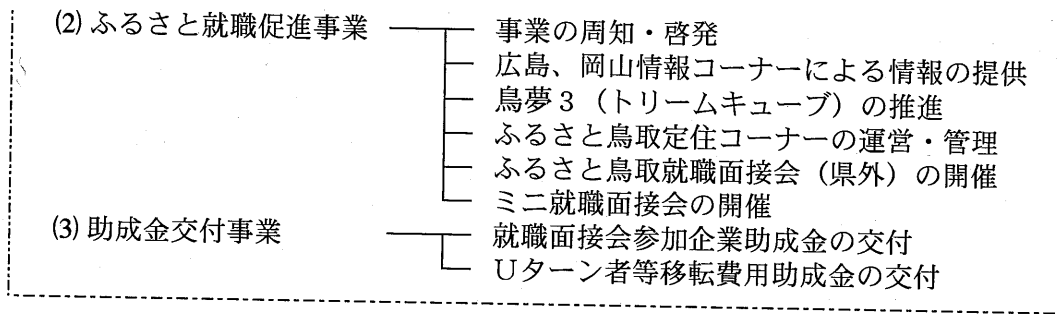
平成18年度事業の推進に当たっては、鳥取労働局、鳥取県、教育機関等の多面的な支援・協力を得て、以下に掲げる諸事業を実施した。

1 地域雇用環境整備事業

地域の雇用環境の整備、改善を推進し、魅力ある地域社会を創出して、地域の発展を担う人材の確保、育成、定住の促進を図るための各種支援事業を実施した。

(1) 事業の推進

情報の収集・管理
無料職業紹介
UJIターン連絡会議の開催



(1) 事業の推進

① 情報の収集・管理

本県定住相談の総合窓口として、市町村定住施策、各種生活関連情報等を収集するとともにホームページに掲載し、各種定住情報の提供を行った。

② 無料職業紹介

Uターン登録制度と一体的にUターン希望者に無料職業紹介を行った。

区分	マッチング件数	紹介状発行
東京事務所	6	28
大阪事務所	6	19
本所	3	6
合計	15	53

③ UJIターン連絡会議の開催

定住施策の横断的な推進を図るため、関係行政機関との情報交換を行った。

- 構成 鳥取労働局、県労働雇用課、東京・大阪事務所及び定住推進員
 (財)ふるさと鳥取県定住機構
- 開催日 平成18年 5月12日(金)鳥取県庁県議会棟2階執行部控室
 平成18年10月26日(木)鳥取県庁第2庁舎第24会議室
- 議題 ・UJIターンの基本的取り組みについて
 ・活動計画について

(2) ふるさと就職促進事業

① 事業の周知・啓発

Uターン登録の円滑な推進を図るため、各種情報誌の発行及びUターン登録システムによるUターン希望登録者及びUターン者採用希望企業に対して、求人・求職者情報の提供を行った。

ア Uターン希望登録者(平成19年3月末現在)

(単位:人)

区分	登録者数	内 訳		摘要
		メール登録	非メール登録	
学生登録	422	341	81	
一般登録	339	252	87	
計	761	593	168	

- イ 各種情報誌の発行
- | | |
|-------------|-----------|
| 暮らしのガイドブック | 2,000部 |
| 機関誌「とりぶ」 | 2,000部×3回 |
| Uターン登録制度の紹介 | 4,000部 |

② 広島、岡山定住情報コーナーによる各種情報の提供

鳥取銀行広島支店、岡山支店に設置させていただいている情報コーナーにおいて、山陽地域に在住するUターン希望者等に対し各種定住情報を提供した。

③ 鳥夢3（トリームキューブ）の推進

県内高校を卒業し、県外の大学等へ進学する学生を対象に、自分のふるさと鳥取県への興味や愛着心を持ち続けてもらうとともに、将来の就職活動の選択肢としての県内就職情報等を提供した。

平成19年3月末現在登録者数

東部35人	中部20人	西部18人	計73人
-------	-------	-------	------

④ ふるさと鳥取定住コーナーの運営・管理

東京・大阪事務所内ふるさと鳥取定住コーナーにおいて、県と連携して首都圏・近畿圏のUターン希望者等に対し、Uターン求人情報を提供するとともに、就職・定住相談を実施した。

(単位：人)

東京	内 訳				大阪	内 訳			
	相談件数	来所	電話	郵便		相談件数	来所	電話	郵便
	334	71	193	70		373	177	118	78

⑤ とっとり就職フェア2006（県外）の実施

県内企業とUターン希望者が一堂に会する場を提供することにより、企業の人材確保及びUターン就職の促進に大きな期待が出来ることから、県と連携して就職フェアを開催した。

対象者：県外に在住する大学生等及び一般Uターン希望者

区 分	東京会場	大阪会場
開催日	4月29日(土)	4月28日(金)
場 所	品川イストラワー	大阪新阪急ホテル
参加企業	33社(35社)	52社(51社)
参加者	41人(35人)	123人(105人)

(注) () 内は前年度参加数である。

⑥ ミニ就職面接会の開催

県内企業への就職を希望するUターン希望者を対象に、人材確保に特に苦慮している県内企業とのミニ面接の機会を提供し、Uターン就職の促進と人材の確保を図った。

対象者：県外に在住する大学生等及び一般Uターン希望者

区 分	大阪会場	大阪会場
開催日	12月16日(土)	3月17日(土)

場 所	大阪事務所交流室	大阪事務所交流室
参加企業	5社	5社
参加者	19人	20人

(3) 助成金交付事業

① 就職フェア参加企業助成金の交付

県外で開催する就職面接会に企業が参加しやすい環境を整備するため、参加経費の一部を助成した。

区 分	東京会場	大阪会場
助成限度額	25,000円	10,000円
助成企業数	30社(32社)	48社(49社)
助 成 額	750千円(800千円)	480千円(490千円)

② Uターン者等移転費用助成金の交付

Uターン等の円滑な推進を図るため、Uターン者等を採用し住居等の移転費用を支給した事業主に対し、当該費用を助成した。

助成限度額 最高1人13万円
 件数・金額 7件 741,654円(前年度10件 931,586円)

2 地域求職活動援助事業

地域求職者に対し、求人情報が適切に提供されていないため、労働力のミスマッチが発生している東・中部地域及び西部地域について、「鳥取県東・中部及び西部地域求職活動援助計画」に基づき国からの委託を受け、地域雇用開発の促進を図るための各種支援事業を実施した。

(1) 広報・周知	——	ホームページによる各種情報の提供
(2) 人材受入情報等の収集・提供	——	企業ガイドブックの発刊 インターネットによる求人情報の提供
(3) 求職者支援講座の実施	——	再就職セミナーの開催
(4) 就職フェアの実施	——	就職面接会の開催

(1) 広報・周知

ホームページにより、企業及び地域求職者等へ地域求職活動援助事業の広報・周知を図った。

(2) 人材受入情報等の収集・提供

人材受入情報および企業情報等に関する各種情報誌を発行するとともに、インターネットを活用して各種情報の提供を行った。

企業ガイドブック 4月発行 4,500部

(3) 求職者支援講座の実施

鳥取労働局と連携して地域内に居住する求職者に対して、就職を容易にするための必要な知識等を習得させるためのITスキル講座等を実施した。

① ITスキル講座

目的 パソコンに関する知識や使用方法等を習得させ、IT社会における情報収集に慣れ親しんでもらうとともに、情報化が進んでいる企業への再就職を支援する。

対象 雇用保険受給中の求職者及びその他の求職者

内容
 ・ワードを利用した文書作成
 ・エクセルの基本操作
 ・電子メールの送受信
 ・インターネットによる情報検索

区分	地域	開催日	場所	参加人員
第1回	東 部	7月11～12日	県民文化会館	10名
	中 部	7月24～25日	倉吉未来中心	10名
	西 部	7月13～14日	米子コンベンション	10名
第2回	東 部	11月14～15日	県民文化会館	10名
	中 部	11月 9～10日	倉吉未来中心	10名
	西 部	11月 6～ 7日	米子コンベンション	10名

② ビジネスマナー講座（再就職支援講座）

目的 求職者の就職を促進し、地域的な雇用構造の改善を図るため、就職を容易にする知識、技術を習得できるように実施する。

対象 雇用保険受給中の求職者及びその他の求職者

内容
 ・販売・営業関連のビジネスマナー
 ・接客・接遇の基本マナー
 ・ロールプレイング演習

地域	開催日	場所	参加人員
東 部	9月4日	県民文化会館	12名
中 部	9月5日	倉吉未来中心	11名
西 部	9月6日	米子コンベンション	10名

(4) 就職フェアの実施

多くの企業と地域求職者が一堂に会する場を提供することにより、企業の人材確保及び地域求職者の就職促進に大きな効果が期待できることから、鳥取県、鳥取労働局、各ハローワーク、県教育委員会等との共催による就職フェア（面接会）を実施した。

① 就職フェア2006年8月

対象者：地域一般求職者及び大学、短大等新規卒業予定者等

区分	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
開催日	8月9日(水)	8月10日(木)	8月11日(金)
場所	ホテルニューオータニ鳥取	倉吉体育文化会館	米子コンベンション
参加企業数	76社(74社)	50社(46社)	72社(72社)
参加者数	297人(311人)	86人(122人)	238人(269人)

(注) ()内は前年度参加数である。

② 就職フェア2007年2月

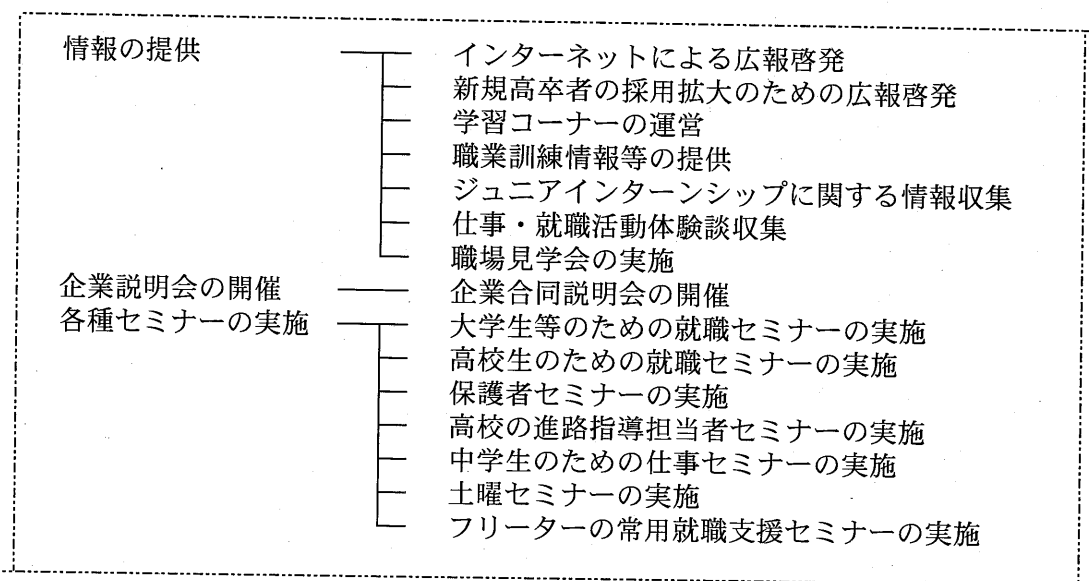
対象者：地域一般求職者及び大学、短大等、高校新規卒業予定者等

区 分	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
開催日	2月7日(水)	2月8日(木)	2月9日(金)
場 所	ホテルニューオータニ鳥取	倉吉シティホテル	米子コンベンション
参加企業数	59社(59社)	34社(29社)	57社(59社)
参加者数	255人(244人)	89人(114人)	244人(271人)

(注) ()内は前年度参加数である。

3 若年者地域連携事業

若年者を取り巻く雇用環境は、新規学卒者の内定率が昨年よりは上回っているものの、若年層の失業者数やフリーター数が増加傾向にあるなど厳しい状況が続いている。このため、鳥取県が設置した「とっとり若者仕事ぶらざ」及び「よなご若者仕事ぶらざ」において、国からの委託を受けて若年者（概ね30才未満対象）の就職支援をした。



(1) 若者仕事ぶらざ利用状況

① とっとり若者仕事ぶらざ

(単位：人・%)

区分	利用者数	年 齢 別			男 女 別		就 業 形 態 等			
		25歳 未 満	30歳 未 満	30歳 以 上	男	女	無 職		在 職	
							離 職	未就業	常用	アルバイト
累計	14,686	10,509	2,017	2,160	7,119	7,567	6,399	1,523	1,657	2,322
平均	50.0	35.7	6.9	7.4	24.2	25.7	21.8	5.2	5.6	7.9
比率	—	71.6	13.7	14.7	48.5	51.5	43.6	10.4	11.3	15.8

区分	就 業 形 態 等						利用回数	
	学 生 生 徒				そ の 他		新規	複数
	大学生	短大生	専門校	中高生	保護者	企業等		
累計	740	258	376	701	306	404	2,937	11,749
平均	2.5	0.9	1.3	2.4	1.0	1.4	10.0	40.0
比率	5.0	1.8	2.6	4.8	2.1	2.8	20.0	80.0

② よなご若者仕事ぶらざ

(単位：人・%)

区分	利用者数	年齢別			男女別		就業形態等			
		25歳未満	30歳未満	30歳以上	男	女	無職		在職	
							離職	未就業	常用	アルバイト
累計	16,381	6,368	5,319	4,694	7,959	8,424	9,418	1,252	2,156	2,768
平均	60.9	23.7	19.8	17.4	29.6	31.3	35.0	4.7	8.0	10.3
比率	—	38.9	32.5	28.6	48.6	51.4	57.5	7.6	13.2	16.9

区分	就業形態等					利用回数	
	学生生徒				その他	新規	複数
	大学生	短大生	専門学校	中高生			
累計	147	38	195	227	180	—	—
平均	0.5	0.1	0.7	0.8	0.7	—	—
比率	0.9	0.2	1.2	1.4	1.1	—	—

(2) 情報の提供

① インターネットによる広報啓発

ホームページ及びメールマガジンにより事業の広報、周知を図り、インターネットによる就職相談に対応した。

- ・アクセス件数 22,236件
- ・メールマガジン 登録者数3月末現在212件
- ・ネット相談 21件

② 新規高卒者の採用拡大のための広報啓発

県内に所在する企業に対し新規学卒者の採用を促すよう、県、鳥取労働局及び県教育委員会と連携して啓発を行った。

- ・新聞広告掲載 8月10日、10月16日

③ 学習コーナーの運営及び職業訓練情等の提供

就職に役立つ図書、ビデオの整備及び各種職業訓練等の情報を提供し、若年者の就業意欲の向上を図った。

- ・就職関係図書 707冊
- ・就職関係ビデオ 97冊

④ ジュニアインターンシップに関する情報収集

高校生等に対する職場見学・職場実習・アルバイト受入れ及び社会人講師派遣に関するアンケート調査を実施し、受入先企業一覧を県内の学校等に配付した。

- ・調査依頼企業数 869社(うち回答240社)

⑤ 仕事体験談等の収集・作成

就職した先輩の体験談を募集しホームページに掲載するとともに、各種小冊子を発行し県内学校の生徒等に配付して若年者の職業意識の醸成を図った。

- ・収集件数 2件
- ・職場の基本マナー 1月発行 2,800冊
- ・THE社会人(働く若者ハンドブック) 12月発行 2,800冊

⑥ 職場見学会の実施

高校生や若年求職者が地域内企業を訪問し、実際の職場環境や業務内容等について把握できる機会を設け、企業に対する理解の深化を図るとともに、県内企業への就職のきっかけづくりをサポートした。

ア 学校単位型（高校生）

- ・実施校 鳥取聾学校、境港総合技術高校、鳥取工業高校、中央高等学園、青谷高校、岩美高校、白兔養護学校、智頭農林高校
- ・参加者数 424人

ア 集合型（若年求職者）

- ・実施回数 5回
- ・参加者数 45人

(3) 企業合同説明会の開催

若年者の地域の企業に関する理解を深めるため、企業が当該企業の事業の概要、業務及び求人の内容等について、若年者に説明を行う企業説明会を開催した。

① 就職フェア2006年5月

対象者：大学、短大等新規卒業予定者、若年求職者等

区分	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
開催日	5月16日(火)	5月18日(木)	5月17日(水)
場所	ホテルニューオータニ鳥取	倉吉体育文化会館	米子コンベンションセンター
参加企業数	81社(67社)	44社(34社)	69社(71社)
参加者数	397人(352人)	111人(91人)	282人(303人)

(注) ()内は前年度参加数である。

② 求人事業所説明会

対象者：新規高等学校卒業予定者（盲・聾・養護学校含む）

区分	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
開催日	8月1日(火)	8月8日(火)	8月4日(金)
場所	白兔会館	ホテルセントパレス倉吉	米子ワシントンホテルプラザ
参加企業数	11社(12社)	16社(18社)	23社(16社)
参加者数	119人(92人)	71人(126人)	187人(193人)

(注) ()内は前年度参加数である。

③ 新規高等学校卒業予定者就職面接会

対象者：新規高等学校卒業予定者（盲・聾・養護学校含む）

区分	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
開催日	11月15日(水)	11月17日(金)	11月21日(火)
場所	白兔会館	ホテルセントパレス倉吉	米子ワシントンホテルプラザ
参加企業数	22社(13社)	17社(16社)	21社(19社)
参加者数	82人(93人)	46人(35人)	64人(56人)

(注) ()内は前年度参加数である。

(4) 各種セミナーの実施

① 大学生等のための就職セミナーの実施

ア 集合型

目的 就職活動を成功させることが社会での第一歩であり、就職活動から模擬面接などの応用までの体感・実践セミナーを開催し、就職活動を支援する。

対象 県内大学・短大・専修学校生及び県外に在学している本県出身学生等

内容 就職活動の本質、現在の就職環境、コミュニケーション手法、自己分析、ビジネスマナー、模擬面接、模擬グループディスカッション

区分	開催日	場所	参加者数
第1回	12月14日(木)	鳥取環境大学	84名
第2回	12月16日(土)	県民文化会館	60名
第3回	2月20日(火)	鳥取大学	38名

イ 学校単位型

目的 本格的な就職活動を始める前に、企業経営者、専門分野の職員及び先輩からの講話や将来設計に資する講座を開催し、就職に係る意識の向上を図る。

対象 県内大学・短大・専門学校生等

実施校 鳥取短期大学、鳥取総合ビジネス専門学校、鳥取環境大学、鳥取大学、米子工業高等専門学校

参加者数 654人

② 高校生のための就職セミナーの実施

ア 集合型

目的 就職内定の高校生を対象に社会人としての心構えやビジネスマナー等の講座を開催し、職業意識の高揚を図り、早期離職の歯止めとする。

対象 県内高等学校及び盲・聾・養護学校高等部に在学する生徒

内容 ビジネスコース：

接客業務の心得、チームメイトとの連携、マナー演習、
年齢差のある人や世界観の違う人とのつきあい方

技術コース：

技術者の心得、技術力向上の精神、入社までの取組み、
年齢差のある人や世界観の違う人とのつきあい方

地域	開催日	場所	参加者数
東 部	12月13日(水)	県民文化会館	52名
中 部	12月11日(月)	倉吉体育文化会館	76名
西 部	12月12日(火)	米子リゾートホテル	43名

イ 学校単位型

目的 本格的な就職活動を始める前に、企業経営者、専門分野の職員及び先輩からの講話や将来設計に資する講座を開催し、就職に係る意識の向上を図る。

対象 県内高等学校及び盲・聾・養護学校高等部に在学する生徒

実施校 八頭高校、倉吉農業高校、鳥取城北高校、倉吉北高校、鳥取盲学校、境港総合技術高校、鳥取西高校(通信制)、倉吉東高校(定時制)、鳥取緑風高校(通信制)、米子北高校、倉吉総合産業高校、米子工業高校、クラーク記念国際高校鳥取キャンパス、米子南高校、鳥取中央育英高校、鳥取工業高校、鳥取敬愛高校、米子白鳳高校、岩美高校、鳥取商業高校

参加者数 2,412人

③ 保護者セミナーの実施

目的 企業が求める人材像や就職に関する基本的な事項への認識を深めてもらい、

子供の将来設計について親子で考える環境の醸成を促す。
対象 県内高等学校、盲・聾・養護学校及び中学校の生徒の保護者
実施校 岩美高校、倉吉養護高校、倉吉農業高校、倉吉北高校、鳥取緑風高校、白兎養護学校、鳥取湖陵高校
参加者数 165人

④ 高校の進路指導担当者セミナーの実施

目的 県内企業の人事担当者や民間企業の講師等より、企業が求める人材像や採用企業開拓のポイントなど進路指導に必要な知識の習得の場を提供する。
対象 県内高等学校等の進路指導担当者等
内容 学校の進路指導、就職指導に求められるもの、キャリア教育、大学の進路指導の現状

区分	地域	開催日	場所	参加者数
第1回	東部	5月11日(木)	県民文化会館	44名
	中部	5月9日(火)	倉吉体育文化会館	28名
	西部	5月12日(金)	米子コンベンションセンター	48名
第2回	全県	5月24日(水)	倉吉体育文化会館	40名
第3回	全県	2月21日(水)	琴浦町 水明荘	32名

⑤ 中学生のための仕事セミナーの実施

目的 各分野の職業に従事する社会人等からの職業講話や将来設計に資する講座を開催し、職業に対する知識や理解を深め勤労観を育成する。
対象 県内中学校及び盲・聾・養護学校中等部に在学する生徒
実施校 用瀬中学校、南部中学校、中央中学校、赤碕中学校
参加者数 384人

⑥ 土曜セミナーの実施

目的 若年者を取り巻く雇用情勢、企業が求める人材などの講話や、応募書類の書き方、面接対策などの講座を開催し、就職活動にあたっての自己啓発を図る。
対象 若年求職者及び大学生等
実施回数 70回
参加者数 338人

⑦ フリーターの常用就職支援セミナーの実施

目的 正しい勤労観や適切な職業選択などの講話や、将来設計に資する講座を開催し、常用就職にあたっての自己啓発を図る。
対象 フリーター等
実施回数 4回
参加者数 35人

4 産業人材誘致センター事業の推進

団塊の世代の大量退職を控え、県外の退職者の持つ知識、技能、ノウハウなどを県内産業の振興に活用し、県内企業の人材面における産業基盤の確立を図る。

1 事業の推進

- ① 県内企業の人材ニーズの把握し、県外の人材の発掘・スカウトを行い、情報の集中化を進め、マッチングを促進した。

人材誘致コーディネーターによる訪問企業数 122社

② Uターンに関するアンケート調査（対象企業110社、回答企業67社）を実施した結果、団塊の世代の採用予定は下記のとおりであった。

団塊世代の今後の採用予定は	ある 7社	ない 38社	わからない 22社
---------------	-------	--------	-----------